

3年普通科体育コース
立命館大学 政策学部

私が立命館大学への進学を希望した理由は、顧問の先生である権藤先生から立命館大学の紹介を受け、調べてみたところ、より高い学力を身に付けることができ、専門競技であるバドミントンでも関西で3位と高いレベルでプレーできるところだと思ったからです。

受験内容は、小論文と面接でした。小論文はそれまで経験したことがなかったので、先生方や友だちなどにアドバイスをもらいながら、書き続ける日々が続きました。面接では、口頭試問というのがあると知り、どんな分野が質問されても答えられるように、広い範囲でたくさんのことを調べたり、自分の意見をしっかり言えるような練習をしました。本番は練習の成果もあり、小論文、面接ともに自信を持って受けることができました。何事にも自信をつけるということは大切だと思います。

私が立命館大学を希望したのは、3年の5月頃でした。それまで、ここの大学に行きたいという希望はありませんでしたが、一年生のときから、行ける大学ではなく行きたい大学に進学できるようにと部活や勉強に励んできました。はっきり言って、この3年間はとてもしっかりできました。特に、2年生の10月以後は部活のキャプテンになり、きつい思いをたくさんしてきました。でもそういった経験をしてきたからこそ今の自分があると思いますし、何をやるにしても自信を持って行動することができました。後輩の皆さんもきついことや辛いことから逃げずに立ち向かってください。たくさん経験をすることにより身に付くことがたくさんあります。また、目標を持つことも大切です。今日一日の目標などの短期目標、いつまでにはこういうことができるようになるなどの中期目標、将来はこういう人物になるなどの長期目標、そして自分の人生の目標の4つの目標を立てることにより努力することができると思います。私は常にこの4つの目標を立ててきました。もちろん達成できなかったこともあります。高校入学時、一番の目標であった全国優勝という目標は達成できませんでした。それでも達成するために考え、行動し、努力してきたことは無駄にならず、日頃の学校生活、大学受験時など違うところで生かすことができ、他の目標達成へのきっかけとなりました。

一年生はあと2年、二年生はあと1年しかありません。今、将来の夢や進学・就職さえも決まっていない人は、何か一つでもいいので一生懸命頑張り、没頭できるようなことを見つけてください。きっと自分に合った将来が見えてくると思います。

最後に、私が大切にしていたことは、思いあたったらすぐに行動に移すということです。行動よりも結果を先に考えてしまうと決心が鈍ることがあります。失敗を恐れず、たくさんすることに挑戦してください。これからの皆さんの活躍を期待しています。御清聴ありがとうございました。